

科目名	インターンシップ 1							年度	2026
英語科目名	Internship 1							学期	通年
学科・学年	電子・電気科 電子工学コース 1年次	必/選	選3	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	企業 担当者		教員の実務経験	有	実務経験の職種		技術者		
【科目の目的】 企業の現場で使われている技術を体験する。企業実習を通じ社会人として必要な知識やマナー、技術力を身につけることを目的とする。 ※なお、実施内容は企業ごとに異なる。									
【科目の概要】 企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高める。									
【到達目標】 A. ビジネスマナーが身についている B. 業務内容を理解している C. 技術力の向上 D. 課題解決力が身についている E. 成果をまとめ、発表することができる									
【授業の注意点】 企業の就業規則、インターンシップ契約を厳守する。怪我や機器の破損など過失について十分に注意する。事前にインターンシップ保険の加入を義務づける。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ビジネスマナーが身につけており、自主的に行動することができる	ビジネスマナーが身につけており、行動できる	ビジネスマナーが身につけている	ビジネスマナーがほとんど身につけていない	ビジネスマナーが全く身につけていない				
到達目標 B	自主的に事前に情報収集を行い、しっかり業務内容を理解している	情報収集ができ、業務内容を理解している	業務内容を理解している	業務内容をほとんど理解していない	業務内容を全く理解していない				
到達目標 C	自主的に行動でき、技術力が飛躍的に向上した	技術力が大きく向上した	技術力が向上した	技術力がほとんど向上しなかった	技術力が全く向上しなかった				
到達目標 D	積極的に問題点を見つけ、課題解決の手段を考えることができる	問題点を見つけ、課題解決力が身につけている	課題解決力が身につけている	課題解決力がほとんど身につけていない	課題解決力が全く身につけていない				
到達目標 E	成果をまとめ、質問にもスムーズに対応することができる	成果をまとめ、質問にも対応できる	成果をまとめ、発表することができる	成果をまとめることがほとんどできない	成果をまとめることが全くできない				
【教科書】 レジュメ・資料を配布する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 企業ごとに、ビジネスマナー・技術力等を総合的に判断する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		インターンシップ 1			年度	2026	
英語表記		Internship 1			学期	通年	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	ガイダンス	社会人としての姿勢やビジネスマナーを学ぶ	1	ビジネスマナー	社会人としてのビジネスマナーが身についている	2	
2	会社説明・業務説明	企業の特長、業務内容を理解する	1	企業の特長	企業の特長を理解している	2	
			2	業務説明	業務内容を理解する		
3	業務実習①	業務実習より技術力の向上を図る	1	業務実習	業務実習を通じて技術力を身につける	2	
4	業務実習②	業務実習より技術力の向上を図る	1	業務実習	業務実習を通じて技術力を身につける	2	
5	業務実習③	業務実習より技術力の向上を図る	1	業務実習	業務実習を通じて技術力を身につける	2	
6	業務実習④	業務実習より技術力の向上とともに、課題解決力を身につける	1	業務実習	業務実習で技術力・課題解決力を身につける	2	
7	業務実習⑤	業務実習より技術力の向上とともに、課題解決力を身につける	1	業務実習	業務実習で技術力・課題解決力を身につける	2	
8	成果発表	成果をまとめ、プレゼンを行う	1	資料作成	資料を作成する	2	
			2	プレゼンテーション	成果発表を行う		
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等